

必ず表紙を付ける

タイトル

(レポートの内容を表す表題)

提出日

学生番号 氏名

提出回

(例: 提出回数 6 回より 6 回目 or 6/6)

1. はじめに

レポートには何が書かれているか（内容）をまずは示す。

2. コンクリートの静弾性係数試験結果の整理

2.1 コンクリートの応力-ひずみ関係

測定データを基に、コンクリートの応力 - ひずみ関係、応力 - 体積ひずみ関係、応力 - ポアソン比関係をグラフで表す。

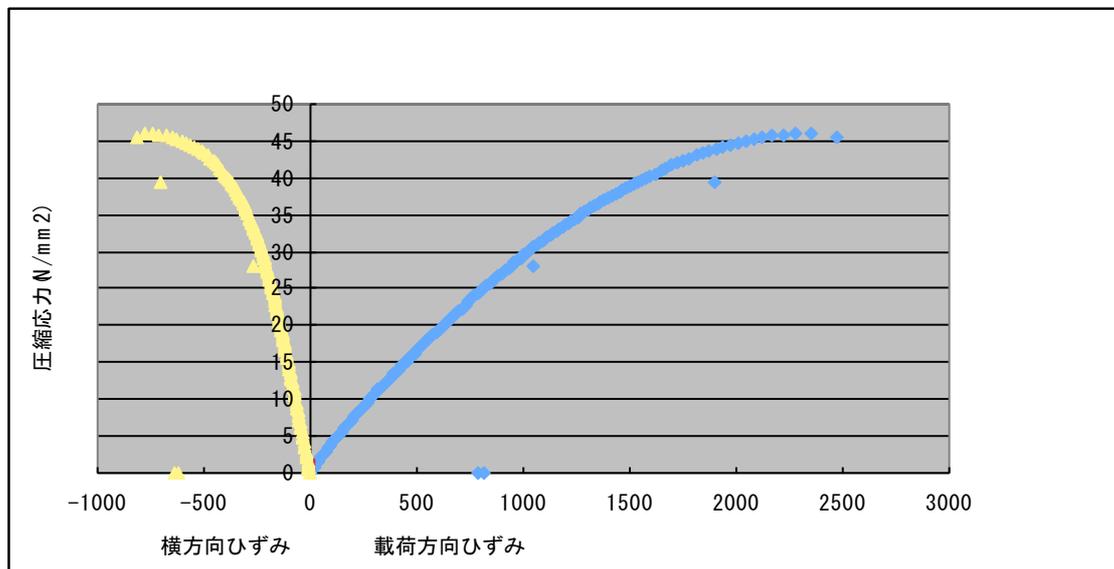


図-? 応力 - ひずみ関係

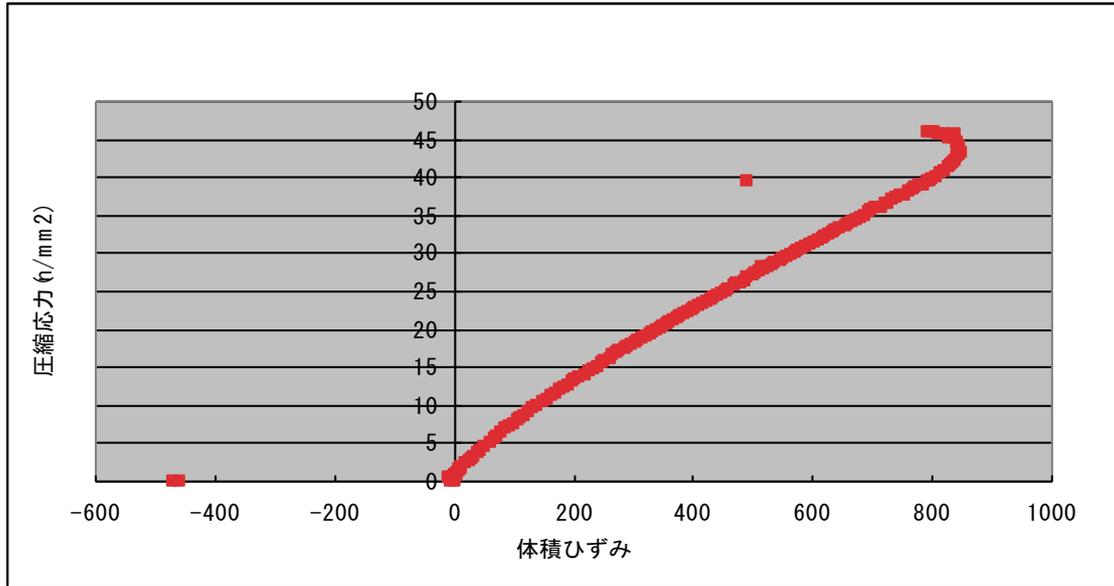


図-? 応力 - 体積ひずみ関係

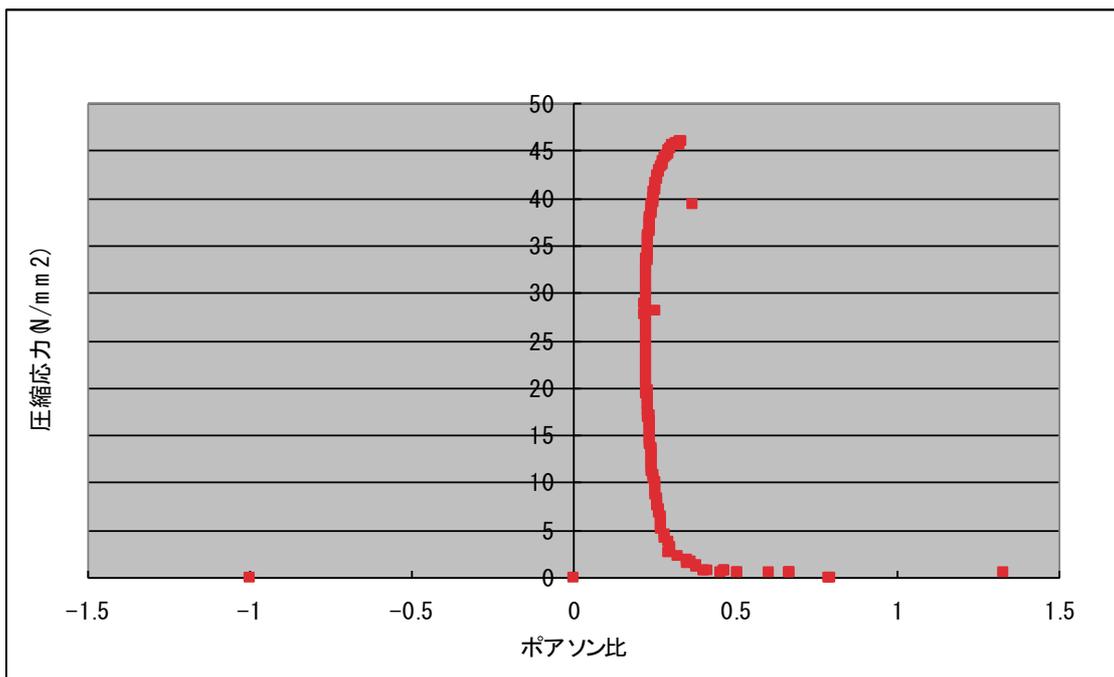


図-? 応力 - ポアソン比関係

2.2 コンクリートのヤング係数の算出

2.3 ポアソン比の算出

3. 鋼材の引張試験結果の整理

3.1 鋼材の応力-ひずみ関係

表-? 鋼材の引張試験結果

試料番号	1	2	PC 鋼材
呼び径(mm)	D16	D25	
断面寸法(mm)	15.9	25.4	16
原断面積 A_0 (mm ²)	$1.986 * 10^2$	$5.067 * 10^2$	201
降伏点荷重 F_y (kN)	67.4	193	232
降伏点 f_y (N/mm ²)	339	381	1154
最大引張力 F_t (kN)	99.6	293	254
引張強さ f_{st} (N/mm ²)	502	578	1264
種類の記号	SD295A	SD345	

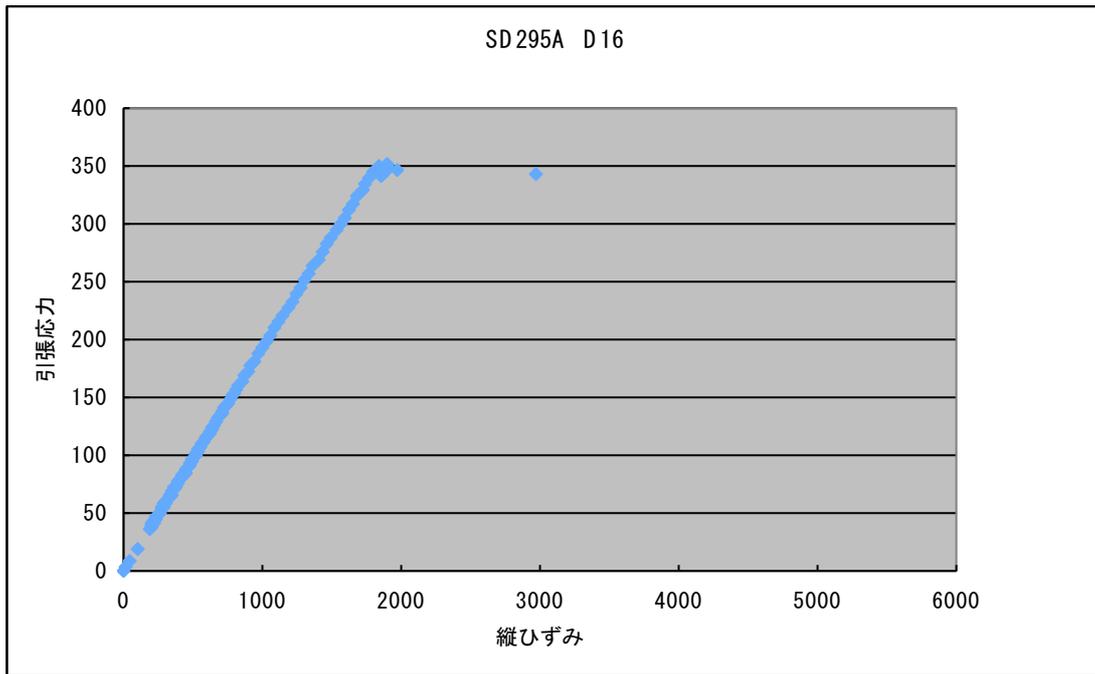


図-? No1 の応力 - ひずみ関係

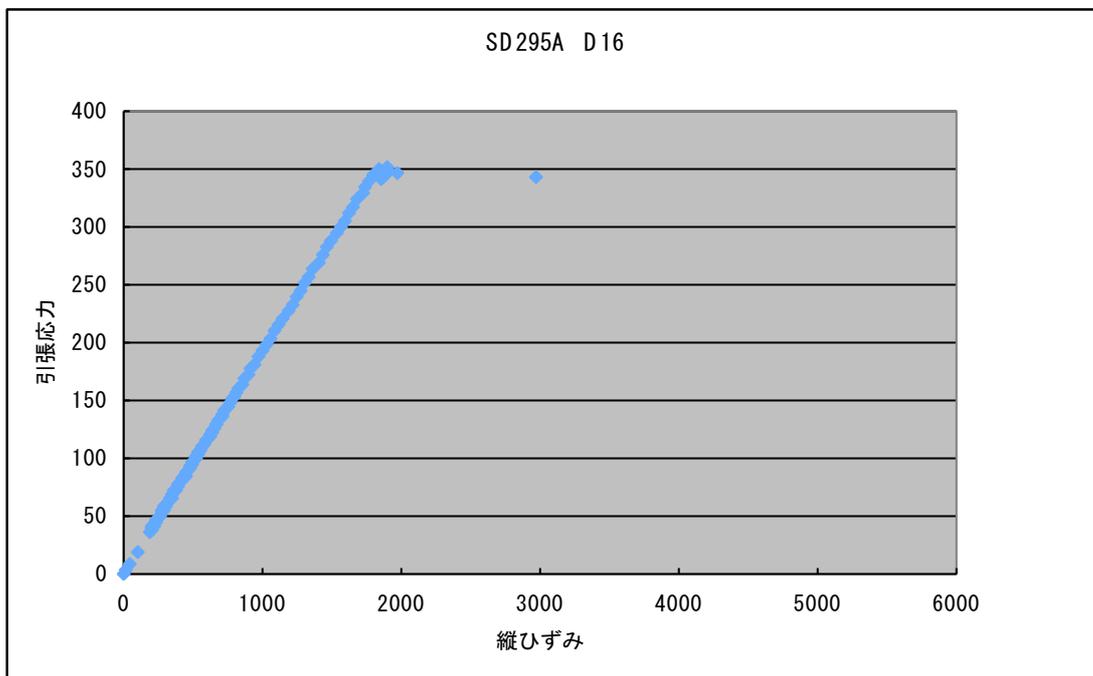


図-? No2 の応力 - ひずみ関係

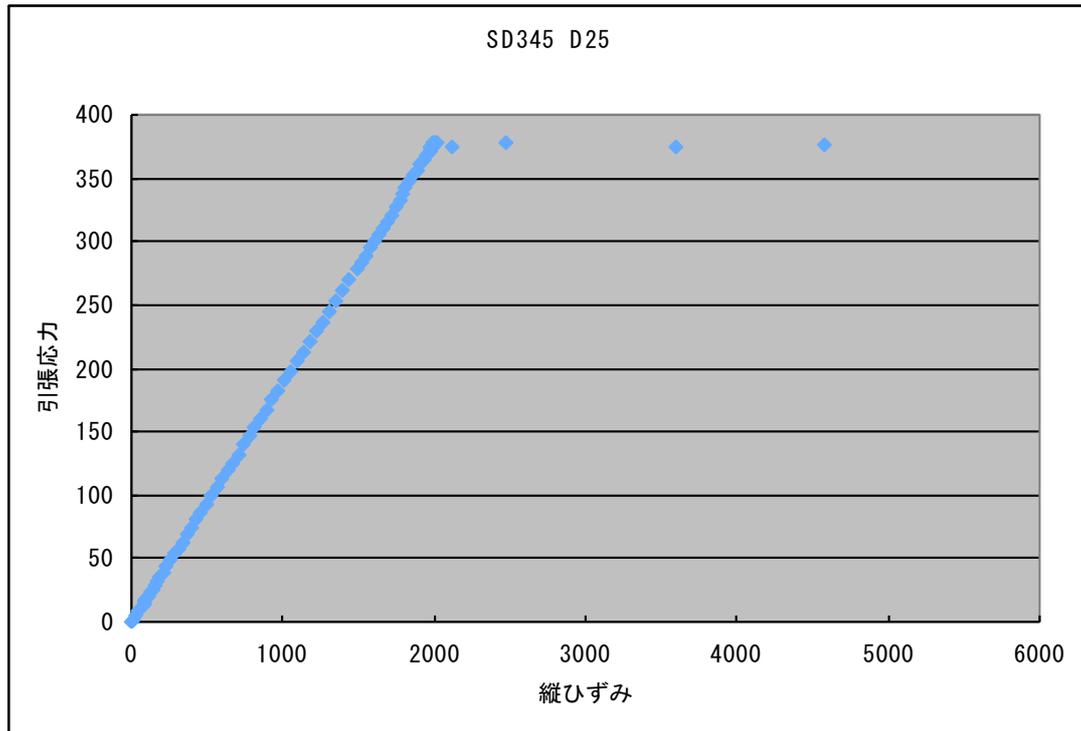


図-? No3 の応力 - ひずみ関係

3.2 鋼材のヤング係数の算出

3.3 鋼材の機械的性質のまとめ

本実験では、鉄筋の種類・・・

表-? 鋼材の機械的性質←総まとめとして表で表すこと

表

4. 考察

5. 授業の感想とオプション